

やまぼうしの
咲き

研
久志



ゴルディアスの結び目

本棚を整理していたらふるい文庫本が出てきました。もう日に焼けて随分と茶色くなっています。小松左京の「ゴルディアスの結び目」。若い頃は小松左京の本を随分と読みました。その時の名残の一冊、何回もの引越しを潜り抜けて今まで私についてきた本です。もう、忘れていましたが。

意味深な題名に引かれて、ちょっと立ち読み、斜め読み。どうも小松左京らしくない魔界バイオレンス風の展開にちょっと引いてしまいました。内容よりも題名が気になります。ちょっと調べて見ました、「ゴルディアスの結び目」

『アレクサンドロスがペルシア領であるリュディアの州都ゴルディオンを占領した時（紀元前333年）、町の中心にあるゼウス神殿に一台の古い戦車が祀られていた。その戦車は“ゴルディオスの結び目”と言われる複雑に絡み合った縄で結わえられており、「この結び目には解いたものがアジアの支配者になる」という伝説が伝えられていた。その伝説を耳にしたアレクサンドロスは腰の剣を振り上げ、一刀のもとに結び目を切断し、「運命とは伝説によってもたらされるものではなく、自らの剣によって切り拓くものである」と兵たちに宣言した。＜Wikipediaより＞』

なかなか興味深いお話です。「自らの剣によって切り拓く」という件はアレキサンダー大王の雄々しさを彷彿させます。しかし、結び目を解けと言われて切ってしまうのは如何なものか。ちょっとずるいような気がします。

その結び目は解くのが随分と難しかったのでしょうか。幾人もの人が解こうとして成せなかったのだと思います。「解けないなら切てしまえ」、随分と乱暴な方法ですが戦車を・・・アジアを手中に収めたアレキサンダー大王。ずるいような気もしますが、「切る」という新たな視点を加えることが解決の糸口に。

「ああ、どうしよう」と言うときは目の前がまっくら。そんなとき、ちょっと一息いれて違った方向から見ると良いかも知れませんね。言うほど簡単ではないでしょうけど。

野口英世の母から

短歌の先生から素晴らしいものを頂きました。頂いたものは・・・野口英世の母の手紙です。

「おまえの。しせにわ。みなたまけました。」から始まるひらがなだけで書いてある手紙です。拙い文字で読めないところもあります。中ほどに「はやくきてくだされ」と繰り返し書いてあります。きっと、あまり文字など書いたことが無かったのでしょう。電話など無い時代、遠くにいる息子に必死にしたためた手紙なのでしょう。文字も文章も拙い感じですが心を打ちます。

何年も過ぎて縁の無い私が読んでも心を打たれるのです。受け取った英世はどんな心持で読んだのでしょうか。「はやくきてくだされ。いつくるトおせてくたされ。これのへんちおまちてをります。ねてもねむられません」とむすんであります。直ぐにでも帰りたくなったでしょうね。

人を感動させるのは真心なのでしょう。文字や文の良し悪しではないですね。心がこもっているかどうかです。電話もインターネットもあり便利な世になりましたが、伝わっていく本質は変わらないのかもしれない。

ドッチボールはもう出来ない

遠方より友あり。彼は子供らをつれてドッチボールの試合に遥々とやってきたのです。その試合場に訪ねて合間にしばしの語らい。

ドッチボールは想像していたよりも過激なゲームです。「人を狙う球技って他にはないんだよ」と監督の彼は言っていました。たしかにそうかもしれません。そして、試合で子供達は、もっている力の限りをつくして早いボールを投げるのです。相手を狙って。

ドッチボールは小学校だけのゲームなんだそうです。小学生は体格、体力の差が大きい年代です。1年生と6年生では相当な差があります。同じ学年でも発育途中の差というのは大きい感じがします。

「ボールを受けることに一生懸命な子もいてねえ」体が大きくて腕力のある子供は強いボールを投げることができます。腕力のない子は、そんなボールを受けることに力を注ぎます。どちらもヒーローになれます。子供はヒーローにあこがれます。

それぞれにそれぞれの資質をもって活躍の場を探しているようです。大人になるとヒーローへの憧れが薄れてきます。ヒーローへの憧れが諦めに変質したり、ヒーローでいることは疲れると思ったりするのです。子供の目の輝きは、そんなつまらないヒーロー感を吹き飛ばしてくれました。

天探女

天探女・・・「あまのさぐめ」と言うそうです。天にあって人の心をしる事のできる女性らしい。彼女が、所謂、あまのじゃくなのだそうです。

部屋を片付ける間もなく散らかり放題。私の部屋があまりにちらかっていたので、何方かが片付けてくれました。そこで、積み上げられていた底辺の本が目につくところに出てきていました。「古代史を知る事典」、そそられる題名です。パラパラとめくっていて、古の神々の項にあったのがあまのじゃくの話。

彼女が登場するのは出雲の国譲りの場面。天照が国譲りの交渉に天稚彦を大国主におくります。しかし、あまりに知らせがないので名無雉の様子見におくっているのですが、それを見つけて天稚彦に告げ口したのが天探女、つまりあまのじゃく。天稚彦はその雉を弓で射ってしまいます。天稚彦は罰せられ、天探女は罰せられることなく過します。

さて、この話のオチ。なぜ、天探女は罰せられなかったのか。天稚彦に悪い心が元からあって、それを知ることができる天探女は、ただ、その心を引き出しただけというのです。天邪鬼はどこにでもいるそうです。そんな天邪鬼を近づけないように清らかな心で生活しないといけませよ、という話。

何処にでもいる・・・というよりも人の心、自分の心の中にいるのかもしれません。よこしまな気持ちを目ざとく探し出し、耳元で囁くように誘う。「名無雉が様子見にきていますよ、射ってしまいなさい」何時の日か、私の耳元でも囁くかもしれません。いや、もう何度も聞いているような気がします。

ブックオフの気になる買い物

いつものようにブックオフで100円本を物色していたら聖書がありました。新約聖書。別にキリスト教を勉強するつもりでもないけど、家に1冊くらい聖書があってもいいかと。

さて、この聖書、扉をあけると、なんと、幼稚園の卒園記念でした。2007年の3月・・・このまえじゃん。送られたボクの名前も書いてあります。ということは送られた主は2年生かな。

なぜ、卒園記念の聖書がブックオフにあったんでしょうねえ。気になります。小学校の低学年には難しいでしょうね。でも卒園記念で名前までかいてあるのですがねえ。愛着がなかったのでしょうかねえ。もしかしたら他の本に紛れ込んでブックオフに来たのでしょうかねえ。そんなことを思いながらパラパラパラと。

小さい字でびっしりと書いてある聖書。その聖書が扉のページ1枚でなんだか身近に思えてきました。これから手に取るたびに卒園記念に聖書を贈られたボクの名前を見ることになります。なんだか二人で読んでいるような気分です。小学生の名前しか知らないボクが私に影響しています。彼は知らないだろうけど。

僕が死んだら

「来る日も来る日もこれが人生最後の日と思って生きるとしよう。そうすればいずれ必ず、間違いなくその通りになる日がくるだろう。」

これはアップル社のCEO、スティーブ・ジョブズが大学の卒業式のスピーチで言った言葉だそうです。凄いですねえ、大学の卒業式でこんなことがいえるなんて。今だったら私にもいけるけど・・・まあ、先が見えてきたということ。

ふと、今、死んでしまったらどうなるだろうと考えました。この世とは私の認識している世界であって・・・などという哲学的屁理屈ではありません。妻子が路頭に迷ったりしないだろうか・・・などという自意識過剰型不安でもありません。それは、本棚の上から3番目の棚の左から2冊目の「ダビンチコード」にはさんであるヘソクリを誰かを見つけるだろうか・・・というつまらない心配だったりします。 ブログなんかは支払いが滞った時点で消されるのでしょうか。他にも私が死んだ後ネット上で亡霊のように残っている部分ってあるのでしょうかねえ。ちょっと検索しただけでも私関連が1000件くらいは表示されます。ネットバンクの預金なんて誰もわからないかもしれません。

そんなことを考えていたら見つけたもの。「僕が死んだら」というソフトです。まあ、くだらない心配をしてくだらない準備をする人もいるのでしょうか。そういう私も結構気になります。

このソフト、パソコンの奥底にある秘密のファイルを死んだときに密かに消してくれるというもの。ムフフな写真データや悪口の一杯つまった日記、などなど。まあ、消し去りたい物が全くないというわけでもありませんが、かと言って絶対消さないと拙いというほどでもありません。でも、このソフト、真面目にメッセージを残すことも出来るようです。せめてネットバンクのIDとネット亡霊たちの除霊方法をメッセージで残しておきましょう。

体重計のお世辞

体年齢43歳・・・体重計のお世辞です。思いつきでパソコンで体重グラフを入力したりするのでパソコン機の傍に置いてる体重計。どちらかと言えば嫌われ者の体重計が体年齢を低く表示してくれます。彼なりの処世術かもしれません。

体重や体脂肪などは誤魔化すと存在価値を問われます。かといって不機嫌になりそうな数値ばかりを表示していると蹴られしまいそうです。だから差しさわりのない体年齢を低く表示してご機嫌をとっているのかと。

たぶん、大いなる邪推。でも、そう思いたくなるような気分の良い数値です。どういう計算法、根拠なのかわからないのもいい。体重計と私の漠とした心地よさの共有です。

このようなお遊び機能も良いですね。数値の世界はビシッと結果が出るだけで遊びっ気がない。でもそれだけだとだと味気ない。そんな中にちょっとしたお遊びの数値を混ぜておくと、雰囲気が変わります。ちょっとやる気がでたりします。やる気を出すための工夫は大切ですね。

蒲焼と色欲

蒲焼に日本酒垂らしつつおもふ茂吉にのこりゐし色欲を(栗本京子)

本棚の栗本京子さんの歌集、「けむり水晶」を久々に開いてみました。昨日、家人がいなくて静かなひと時があったので。上記は冒頭、2首目の歌、まあ、なんと人の色欲まで気にせずとも良いものを。そう思いながら気になったので齋藤茂吉と鰻の関係を調べてみました。まあ、そうとうな鰻好きだったんですね。

茂吉の日記から食べた鰻を数えた人がいたようで、なんと1000匹あまりだとか。毎週食べたって1年で50匹、20年も掛かります。実際、44歳で鰻好きになり、68歳ころでは流石に脂っこいものが苦手になったのか関心を示さなくなるそうで、その間の約20年間に食べまくったとか。

1首でこれだけ楽しめるのもいいですねえ。素通りしても良いのだけど茂吉という誰でも知っている名前に蒲焼、色欲などの意味深な言葉があると気になるというものです。蒲焼からこれだけ話題が膨らむものなんですねえ。

栗本さんも蒲焼から、これだけ話題性のある歌を。私も、その歌からこれらの興味深い文をみつけました。通り過ぎれば単なる蒲焼、みつめればひとつの宇宙です。

茂吉の鰻好きはこちらに詳しく解説してありました。

<http://www.irago.co.jp/documents/mokichi.html>

ついでに色欲の方も調べてみました。そちらの顛末はこちら

<http://homepage1.nifty.com/B-semi/library/koiku/04..>

月見草が待つのは宵のみでなく

最近、俯いてあるく事が多くなったのか野の草花を良く見つけます。最近は私の好きなねじ花が沢山咲いていて嬉しいです。時には、スミレの実など見つけて面白がったりします。

今日も、帰り際に街灯の下に月見草を見つけました。朝、出社するときは萎みぎみの月見草がやたらと元気です。そこで、ふと思ったのです。「貴方はなぜ夜に咲くの？」

花は実をつけるために咲くのですよね。つまり遺伝子を保存、伝達するために花をさかせる。遺伝子の多様性を得るために他の花の花粉で受粉しようと画策もする。昆虫に蜜を提供して受粉をしてもらいます。虫たちに見つけてもらうために目立つようにしているのでしょうか。でも、夜は蝶々も飛んでいないし、蜂も訪れていないようです。それを思うと夜に咲くことが不可解な行動に思えたのです。そう思いませんか。

そこで、調べてみました。

彼女達はススメガを誘っているのだそうです。ホバーリングして長いストローを花に差し込んでいる蜂でも蛾でもないようなやつ。ススメガは夕暮れごろに元気になるのだそうです。月見草はススメガにターゲットを絞った。だから夕方から咲き始めるのです。

月見草は競争相手が少ないでしょう。なにしろ、夕方から咲き始める花は多くありません。ススメガがそぞろ飛びを始めるころに用意される、咲きたての「新鮮」な花と蜜。戦略的な香りを感じます。

蠅の領分

食事をしていたら蠅が飛んできました。五月蠅い、追っ払いながら食べます。開いた小鉢に蠅がとまります。彼らの小さいお腹を満たすには十分かもしれません。私にはもう用がないのでそのままにしておきます。いちいち追い払うのも面倒です。

するともう一匹、また一匹と集まってきます。私が食事中にも関わらず。まあ、しかし、私には用がない小鉢です。彼らも、その小鉢から外に出ようとしません。彼らは彼らの領分を守っています。時々、ちらちらと私の方を見上げながら。

まあ、領分というのはありますね。領分を守っている間はいざござはありません。人の領分まで踏み込むからいざござが起こるのです。でも、時には踏み込むことが必要な時もありますね。そんな時でも見境なく踏み込んではいけません。領分の境が見えていて、その上で踏み込んでいく。そうすれば用心ができます。境が見えないまま踏み込んでしまうと拙いです。

蠅にだって出来ているのですから。

ファンエラー

パソコンが壊れてしまいました。チビパソコンの方。いつも車に乗せていて地図を見たりしてるパソコンです。

電源を入れると「ファンエラー」とでて止まるのです。「無視して動け！」と言うと、いつも通りに動きはじめます。しかし、ファンの音がしません。このまま使い続けると、中の部品が熱に犯されて、その内に動かなくなるでしょう。メーカーに電話をしてドック入りです。昨日、引き取られていきました。暫く、使えない。

ファンなんて主要な部品ではありません。所謂、データ処理などには関わっていません。一生懸命、計算などしている他の部品を扇いで冷やしているだけです。でも、彼が動くのを止めると他の部品は熱暴走して間違えたり、壊れてしまったり。

なんだかねえ、どこにでもいますよねえ。日の当たる役割ではなくて目立たないけど、その人が居ないと上手く回っていかない人。「俺が会社を背負っているんだ」的な人だけで成り立っている訳ではありません。そんな人も居るから成り立っているのだと思います。明日、会社にいったら見回して見ましょう。

メモ帳の怪

「とりあえず驚いてみる」よく判らないけど、私のメモ帳に書いてあった言葉。なんのことだろう。これだけ1フレーズ書いてあってもねえ。

たぶん、短歌が出来なかったのでしょう。短歌の元は感動、驚き、発見。だから、「とりあえず驚いてみる」。「とりあえず驚いてみる」と何かが生まれるかもしれない。

青い空に「とりあえず驚いてみる」・・・驚いていなくても「ああ、青いんだあ」と言ってみる。ふむふむ。なんだか良さげ。

内から湧き上がる感動なんてそんなにありませんよねえ。それで、感動のフリ、まあ、形から入ろうという訳ですね。それで1首でも短歌が出来れば見つけものです。「とりあえず」が肝かもねえ。

知らない誰かが

ずっと前から不思議に思っていたことがあるんです。しょうも無いことだけど気になることってありませんか。そんなことのひとつです。

「街灯の電気代は誰がはらっているのだろう。」

街灯を見るたびに気になっていました。電力会社さんがボランティアでつけているのだろうかとか。

公民館の館長さんに話していて、なんとなく話題になったのです。そしたら、判りましたよ。公民館が払っていたのです。何でも、定額料金で月に1灯あたり200円くらいだったかな？まあ、そんな風に払っていたんですね。そういえば、班長さんが回ってきたときに街灯の取替えをしましたねえ。

しかしねえ、自分の公民会のところだけ歩いている訳でもないですよ。夜の散歩などしていると、いろんなところの公民会のお世話になっているんですよ。

感謝です。公民会の人たちは自分の所の防犯などのために街灯をつけているのでしょうけど、だからといって他の人に「使うな」などとは言わない。しかも、私みたいに誰が電気代を払っているか知らない輩も、沢山いると思います。そういう輩も一様に照らしてくれます。

もしかしたら、そんなことって沢山あるのかも知れませんね。知らない間に、知らない誰かにお世話になっている。もし、そうだとしたら「あの人がこれを貰った」的ことに「ありがとう」というのだけでは足りないような気がします。知らない誰かに向かって、「今日もありがとう」といわないとねえ。

右を説明してください

「右を右という言葉を使わずに説明してください」金田一先生の講演を聴きにいきました。とっても楽しい講演でメモが何枚にもなりました。

最初の方は色々なクイズで盛り上げて一気に皆の心を掴んでしまいます。そして冒頭の質問。辞書では難しい言葉よりも簡単言葉を説明するほうが難しい、そんな話でした。右を調べると、「右、左の反対」それで左の方を調べると、「左、右の反対」そんな辞書だったら、結局???となってしまいますよね。「常識とはなにか」、最近の私が気になっているテーマと重なってとっても興味のある話題です。

「言葉によって縛られる、言葉によってだまされる」。「温暖化はそんなにわるい事ですか。自分で考えずに言葉の洪水に流されていませんか」。思い当たる節が多々あります。無条件に受け入れている「常識」、でも、その「常識」が曲者だと最近思っています。

冒頭の質問、高校生が答えてくれました。「北を向いて東の方」。辞書は簡単な言葉を読んでもみると面白いそうですよ。たしかに「右」なんて調べないですよ。あなたの辞書で「右」はどう説明してありますか？